

ただいま、大雪のため・・・

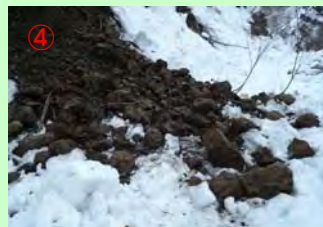
2月1日、越美管内である揖斐川(いびがわ)町、本巣(もとす)市に大雪注意報が発令された。思い返せば、先週末から降雪が続いている。2月2日朝現在、揖斐川砂防出張所管内の工事現場における積雪量は、多いところで100cmを超えた。

大蔵(おぞう:揖斐川町)谷では、掘削した法面の吹付作業を行っていたが、このところの降雪(写真①)で作業をやむを得ずストップ。天候の回復を予想し、再開に向けた準備を進めている。

エノマ谷(本巣市)でも追い込み段階に入っているが、現場へのアクセス路ももちろん大雪(写真②)。このところの大雪で、現場内は除雪作業の毎日だ(写真③)。

積雪が引き起こす土砂崩落(写真④)が発生する恐れがあり、安心できない毎日。作業者は斜面の安全性などを確認し、作業を進めている。

揖斐川町にある藤橋(ふじはし)城も雪の衣装を身にまとった(写真⑤)。管内では、すでに車を超える積雪箇所も(写真⑥)。皆様も白い山々を見に来てみませんか？



特集:揖斐の山を訪ねて

越美山系砂防事務所管内図



月の株(ケヤキ)



反射板



三等三角点西津汲

クマタカ通信では、越美山系管内の自然・歴史に親しんでいただくため、特集コーナーを始めます。最初に管内の「山」について紹介していきます。

＝西津汲(にしづくみ)＝標高793.4m。三等三角点西津汲を有する。

本年度工事を行った外津汲内谷(とつくみうちたに)砂防堰堤付近の山を紹介します。西津汲は、揖斐川(いびがわ)町の市街地から北西の方向で突出した飯盛山(いもりやま)の南側に位置しています。この山の魅力は、旧久瀬(くぜ)村の天然記念物指定を受けた天狗が住むという神秘的なケヤキ「月の株」と山で出会える動物や鳥たちです。登山口までは整備された林道西津汲線で快適に駐車場まで行くことが出来ます。駐車場から飯盛山までは遊歩道が整備されているので景色を楽しみながら登ることが出来ます。飯盛山から西津汲までは不明瞭な路が続く少し危ない所なので経験者に同行してもらおうとよいでしょう。また、この区間は、獣道が多く動物・・・と出会うことがあります。大きな反射板を通り過ぎれば山頂に着きます。登山口から飯盛山までは標高差が少ないので登りやすくハイキングに適した山です。 =つづく= (M.H)

